学校番号	1008

令和8年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	2単位	年次	2・3年次
使用教科書	情Ⅱ702 高校情報Ⅱ（実教出版）						
副教材等	高校情報Ⅱ　学習ノート(実教出版)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・他の教科等の学びとあわせて、変化する社会の中で生きていくための資質・能力を深めよう。
・情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、実際に情報活用能力を高めるとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養おう。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を育むことをめざす。
【知識・技能】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解している。
【思考・判断・表現】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】
情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造をめざし、情報社会に主体的に参画し、その発展に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身につける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プログラミング	Python の基礎 構造化定理 配列 二次元配列	a:簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる。 b:プログラミングにおける配列や関数について理解し、適切に利用することができる。 c:基本構造のプログラムの作成を意欲的に取り組んでいる。	課題	課題	授業態度等
	プログラミングで作品制作	アプリを用いて ゲーム制作	a:プログラミングの知識を用いて、自分の作りたいことを表現できている。 b:自分の表現したいことをフローチャートに表現し、それを作品に反映させることができる。 c:作品制作を通して、主体的・意欲的に取組んでいる。	作品制作	作品制作	作品制作 授業態度等
2学期	データサイエンス	データサイエンスと社会 データの収集 データの整理と変換 データの分析と可視化 統計的推測	a:データサイエンスの技術や実社会における応用について理解している。 b:可視化した結果をもとにデータの特徴を適切に表現し伝えることができる。 c:実社会の実問題に対するデータサイエンス技術の応用に興味・関心を示している。	課題	課題	授業態度等
3学期	表計算	Excel の基本・応用	a:目的に応じた関数やグラフを使い分けて使用することができる。 b:課題を作成する際に関数を応用して適切に利用することができる。 c:課題作成に主体的に取り組んでいる。	課題 実習考査	課題 実習考査	授業態度等

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度